第 185 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2008 年 11 月 21 日(金) 17 時 00 分~18 時 30 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 長塚 仁 氏

(岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 口腔病理学分野・教授)

タイトル: 歯原性腫瘍の分子病理学的解析

エナメル上皮腫をはじめとする歯原性腫瘍は、歯学固有の極めて特異な腫瘍である。我々は、現在まで歯原性腫瘍に関して①腫瘍細胞の歯原性細胞分化 ②基底膜の特異性と浸潤性獲得 ③細胞増殖能と遺伝子の異常 ④骨吸収のメカニズムの4つの観点から研究を進めてきた。今回のセミナーでは、正常歯牙発生過程における細胞分化をもとに、歯原性腫瘍における各種蛋白や遺伝子の発現の面からその歯原性腫瘍としての性格を検証する。歯原性腫瘍の中でもエナメル上皮腫は、良性腫瘍でありながら骨内侵襲性が高く、臨床的に準悪性とされている。そこで、エナメル上皮腫の侵襲性獲得のメカニズムと各種サイトカインの関与についてもお示ししたい。また近年我々は、エナメル上皮腫発生に関わる新たな癌抑制遺伝子異常と、腫瘍間質の関わる骨破壊のメカニズムについて新たな知見を得たので、その概要についても報告する。

担当:硬組織疾患制御再建学講座 川上敏行